

平成31年3月11日

# 産業厚生委員会

阿久根市議会

1. 日 時 平成31年3月11日(月) 15時57分開議  
16時23分散会
2. 場 所 第1委員会室
3. 出席委員 仮屋園一徳委員長、白石純一副委員長、中面幸人委員、  
濱崎國治委員、牟田学委員、岩崎健二委員、山田勝委員、  
野畑直委員
4. 事務局職員 議事係主査 大瀧昭裕
5. 会議に付した事件  
所管事務調査
6. 議事の経過概要  
別紙のとおり

## 議事の経過概要

### 仮屋園一徳委員長

ただいまから産業厚生委員会を開会いたします。

本日の議題は、所管事務調査事項の集落営農等の農業振興策についてであります。

前回の委員会で決定しておりました、ツバキ・ヒサカキの苗木に関して、所管課を呼んで調査を行いたいと思います。

それでは、農政課、水産林務課の入室をお願いします。

[農政課、水産林務課入室]

### 仮屋園一徳委員長

農政課、水産林務課に出席いただきました。

本日はツバキ・ヒサカキの苗木に関して、委員から幾つか確認したいことがありましたので所管課に出席いただきました。

それでは委員の皆さんから質問をお願いします。

### 野畑直委員

どうも、きょうは急にお呼びしまして申しわけありませんが、先日の一般質問のですね、中身についてちょっと確認をして、そして我々も最後の産業厚生委員会になるかもしれないけれども、委員長報告の中にしっかりとしたものを報告してもらいたいとお聞きします。

先日の一般質問で、農林業振興センターにおいてツバキの苗について2,500本の挿し木に31年度取り組むというようなふうに私は受け取ってるんですが、それで間違いないということよろしいですか。

### 園田農政課長

2,500本受け入れ可能ということでお答えいたしました。予定がその生産組合といたしますか、団体がどのくらいお考えになっているか、ちょっとまだ理解しておりませんが、2,500本の受け入れは可能であります。以上です。

### 野畑直委員

今、課長の考え方は受け入れということで、例えば生産組合のほうが2,500本までは受け入れられるから、その分についての挿し木の穂木と言うんですか、それは生産組合のほうで準備しないとイケないということですか。

### 園田農政課長

現在、ヒサカキの支援の方向で、同じ方向で考えております。ヒサカキの枝物生産組合も挿し木をこちらに持ってきていただいて、あとは半年間の育苗を農政課の農林業振興センターで行っている状況ですので、同じような形でさせていただければと考えております。

### 野畑直委員

この前の一般質問で初めて執行部に投げかけた問題ですので、生産組合を立ち上げて自分たちでどれだけ準備できるかというところまでは、私のほうとしてもまだ不明な点

がありますけれども、市として全て、ヒサカキと違ってツバキは阿久根市に自然に生えているものもありますので、市のほうとしてもそのうちの何本かについてはできるんじゃないかというような考えはありませんか。

#### **園田農政課長**

これまで、苗木等の調達等に関しては、水産林務ということで、特用林産物の事業を使ってやっていると認識しております。農政課はその受け入れた分を育苗という形で支援体制をとりたいと考えているところです。

#### **野畑直委員**

それではですね、特用林産物の産地づくり推進事業ですかね、これについては水産林務課のほうになると思うんですが、今、鹿児島県でもいいんですが、ツバキ苗の例えば挿し木ではなくて、苗木について3年物、あるいは何年か経った苗木というのは販売しているところは、情報提供とかそういうものについて市のほうで取り組んでもらえることはできませんか。

#### **山平水産林務課長**

今のところどこにどんなツバキがどれだけあるかという情報はまだ今のところ得ておりませんが、今言われた情報を提供することは水産林務課としては行っていきたいというふうに考えております。

#### **野畑直委員**

そこでですね、生産組合を立ち上げて、これから特用林産物の産地づくり推進事業で市のほうとしては取り組んでもらいたいという考えがあるようですけれども、立ち上げた後にそのような、例えば3年物の苗木があったときに、市が情報提供して、その苗木についてですね、補助して、産地づくり推進事業を使って苗木の補助というものは考えられますか。

#### **山平水産林務課長**

この前ちょっと調べた段階で、3年物の苗木が、いちき串木野市に一応聞きとった結果ですね、1メートル以下のもので苗木が600円、1メートル以上が1,200円ということで、いちき串木野市からは情報を得ております。通常であれば、これが例えば32年度事業とかいうのであれば今後協議はしていきたいとは思っていますが、ただ31年度に苗木をとということになりますと、当然、当初予算にも組んでおりませんので、補正予算に該当するような事項といいますか、ものなのかなというふうなのも考えられますので、それを検討していくにしても、32年度の予算の時点で考えていく必要があるかと思っています。

#### **野畑直委員**

今ですね、市のほうでは耕作放棄地の解消対策にも取り組んでおりますので、このことも同じような考えで、今、課長の説明では当初予算にはないということですが、耕作放棄地の解消事業に該当するような考えは持ってはダメですか。

#### **山平水産林務課長**

一般質問の中で、市長のほうからも答弁があったと思うんですが、植えっ放しじゃなくて、肥培管理とか施肥などをやっていかないと耕作放棄地への植え付けといいますか、できていかないのかなというふうに思っています。それと、先ほど野畑議員のほうから質問がありましたが、これも市長のほうから答弁をしておりますけれども、今、特用林産物産地づくり推進事業のほうを活用してもらいたいということで市長のほうからは答弁がなされております。先ほどちょっと言い忘れたんですが、言い忘れたと言いますか

単独事業で考えていらっしゃるのか補助事業で考えていらっしゃるのかというのが自分のほうがはっきりした受け止めができませんでした。特用林産物の産地づくり推進事業でいきますと、一般質問の答弁でもありましたように、苗木代に加えて肥料代とか人件費なども補助対象になっておりますので、できればその特用林産物総合対策事業を使ってもらったほうがいいというふうに考えております。

#### 野畑直委員

私も一般質問の後、ちょっと話をしたら当然その特用林産物の産地づくり推進事業を申請するに当たっては、もちろん肥培管理をしないとイケない。そしてまた、補助申請に対してもそれなりのものをつくらないとイケないということで、事務的なものもしないとイケない。そういうふうになったときにですね、例えば先ほどいちき串木野市の1メートル以下、例えば600円の苗木というのに対して補助を受けられるという考えでいいんですか。

#### 山平水産林務課長

1本幾らとか、施肥とかいろんなものが決められてきます、県のほうから単価が。だから、今のところは何とも言えないですけども、今、ヒサカキの状況を見たときに、600円とかいった苗木っていうのは厳しいところがあるんじゃないかなろうかというふうには考えますが、今のところはそこができる、できないははっきり言えないところがあります。

#### 野畑直委員

ちょっと質問を変えますけれども、いちき串木野市は1メートル以下を600円で、限度を決めて補助をするというふうになっておりますけれども、そっちのほうのいちき串木野市のほうはどのような取り扱いをしているか、聞いてませんか。

#### 大野林務係長

いちき串木野市の農政課のほうに聞いたんですが、いちき串木野市のほうは、農業委員会の会長のほうが耕作放棄地解消を目的に農業委員会の会長が中心となり募集を行い、苗木の単価の2分の1で上限が300円で助成をしているということです。だから、林務のほうの特用林産物産地づくり事業を活用しているということではないと思います。単独事業だそうです。

#### 野畑直委員

ということはですね、阿久根市でもそのいちき串木野と同じような2分の1の補助というのは考えられないんですか。市の単独で同じような扱いはできないんでしょうか。

#### 山平水産林務課長

これも市長が一般質問で答弁をしておりますように、特用林産物の産地づくり推進事業を活用してもらいたいということです。

#### 野畑直委員

私たちはですね、産業厚生委員会で昨年、長崎県の五島市と桜島のほうに行って調査をしてきた結果ですね、五島市のほうも苗木は全部補助をしていると。今聞くところによると串木野のほうも半額補助をしている。そして、桜島のほうもちょっと前になりますけれども、苗木については全額自治体のほうから、行政のほうから支給をしているということでもありますので、やはり耕作放棄地解消に向けて特用林産物があるから阿久根はそれで、例えば串木野のようにはできませんよとかいうのではなくて、今後の問題ですから、きょう、その答えはいただかなくてもいいですけども、やはり耕作放棄地を解消するにはどうするか、今後その遊休農地をどうするかということを考えてときに、

やはり手入れが行き届くように、生産者がふえるようなことをするのがやっぱり行政であって、私はその特用林産物の産地づくり推進事業で申請をしないといけないなどは考えてはおりますけれども、高齢者の人たちが取り組む事業であって、今年度はちょっととか、補正を組んでまではとか、そういう考えじゃなくて、ものすごくこれが多額の予算を使うものであればですね、それはちょっと無理だよねっていうところがありますけれども、その辺も含めてですね、もうちょっと積極的な考え方で生産者をふやすにはどうするかということをお私に考えてもらいたいですけれども。2人の課長がそうしますという答えはもちろん予算を伴いますので、できませんので、そのような考え方を含めて今後特用林産物の産地づくり推進事業について申請をするようにしますけれども、そういう形で市のほうとしても私は取り組んでもらいたいと思いますけれども。林産物の産地づくり推進事業について、もう申請はいつでも受け付けてくれるのか、その辺まで教えてください。

#### **山平水産林務課長**

一応県のほうへも提出をするようになってますので、申請時期というのがある程度決められております。

#### **大野林務係長**

32年度予算であれば、10月までに市のほうに要望を出してもらえれば、当初予算に組んで県のほうに要望を出すということになります。早くても32年度からということになります。

#### **園田農政課長**

耕作放棄地の解消事業について、一つ補足をしておきますけど、こちらは地権者がその農地を荒らしたりそのまま放棄しているような状況の農地、自分の農地ですね、そちらについては事業対象外となります。人の農地を借りたり、あるいは新たに買ったりした農地が対象となります。自らの農地については自分の責任でこれまで管理している必要があったということで、そこは市の事業もですし、ほかの国の事業等も対象としておりません。ここを補足させていただきます。

#### **仮屋園一徳委員長**

ほかにありませんか。

#### **中面幸人委員**

特用林産物産地づくり推進事業については、これは国、県、100%補助なんですか。

#### **山平水産林務課長**

補助率につきましてはですね、県、市が3分の1ずつ、受益者が3分の1です。

#### **仮屋園一徳委員長**

ほかにありませんか。

#### **野畑直委員**

大体わかりました。挿し木について、ことしから農政課のほうでそういう2,500本の受け入れ体制があるということで、我々というか生産組合を立ち上げなくてもそれは、挿し木については受けられるのか、それとも生産組合を市に届け出してからでないか受け入れないのか、その辺を教えてください。

#### **園田農政課長**

ちょっとそこまではまだ想定はしていないところですが、正式な団体というか、組合ということでもなくて一定のですね、有志の皆さんが集まった団体等であれば、その方向性に向かうということで目的をしっかりと示していただければ、受け入れは可能かと

考えております。

#### 野畑直委員

もう一点だけ、先ほどの挿し木だけではなくてですね、苗木ですね、1メートル以下の苗木、例えば今、600円と言われましたけれども、これを来年度、そういう特用林産物の産地づくり推進事業に申請を行うというようなことも考えつつ、市のほうとしてはその辺の情報をですね、しっかり調査していただいて、できれば挿し木だけではなくて、そういう苗木を植えてするのも、ちょっと急ぐにはそういうことも考えられますので、そういうことを調査しておいていただきたいと思いますので、よろしく、その苗木等についてですね、お願いします。

#### 仮屋園一徳委員長

ほかにありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

なければ、以上で所管課への調査を終了いたします。

ありがとうございました。

[農政課、水産林務課退室]

#### 仮屋園一徳委員長

ただいま所管課から話を伺いましたが、委員の皆さんから何か意見等ありましたらお願いします。

#### 中面幸人委員

今、両所管課から話を聞いてですね、いろいろ聞きましたけれども、例えば市の単独であれば2分の1であり、また特用林産物産地づくり推進事業を使えば受益者負担3分の1ということですね、いわば行政側としても負担の軽減のためにはやっぱりこの推進事業を使ったほうが良いという考えでもあり、全て、その生産者が負担ゼロというのはないような気がしますので、この方法ですね、産地づくり推進事業を使ったツバキのですね、取り組みをですね、したほうが良いんじゃないかと思うところです。

#### 仮屋園一徳委員長

ほかにありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

それでは、以上の件も含めて本委員会の所管事務調査の報告を20日の本会議で行いたいと思います。議長宛て提出する所管事務調査終了の申出書及び委員長報告の内容等については、委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

御異議なしと認め、そのように決しました。

このほか委員の皆さんから何かありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

なければ、以上で産業厚生委員会を散会いたします。

(散会 16時23分)

産業厚生委員会委員長 仮屋園 一徳